

◆採点基準（案）

審査基準の14の具体的項目については、それぞれ1点から3点までの範囲で採点する。

⑧と⑪については1点から5点までの範囲で採点。その合計点（44点満点）により審査する。

審査基準	概要	具体的項目	配点
I. 公益性	事業の成果が、多くの市民に幅広く還元される公益性があるか。	① 特定の市民や団体の利益につながるものではなく、多くの市民の利益につながるか。	3
		② 多くの市民が参加又は賛同できる事業内容か。	3
		③ 現在の社会的課題又は社会に潜む課題に取り組むものか。	3
		④ 事業の成果を市民へ提示できる形で法人自身が測定しようとしているか。	3
II. 実現可能性	事業や資金計画などに無理が無く、自主的、自立的に事業を遂行する能力があるか。	⑤ 事業内容は事業目的に合致しているか。	3
		⑥ 実施スケジュールと体制は整っているか。	3
		⑦ 事業計画・収支予算の内容は適切か。	3
III. 自立性	当該補助金の活用により、法人や事業の自立につながっていくか。	⑧ 当該補助金以外に、財源の確保に取り組もうとしているか。	5
		⑨ 事業の担い手や賛同者を増やす取り組みを行っているか。	3
		⑩ 団体の財政状況が健全で、事業内容と団体のめざすべき方向性が整合しているか。	3
IV. 発展性	当該補助金の活用により、事業が発展し、市民活動の発展につながるか。	⑪ 新たな取り組み又は既存事業の発展に取り組んでいるか。	5
		⑫ より多くの市民等を巻き込み、地域社会全体の取り組みとして発展する可能性があるか。	3
		⑬ 同じ分野あるいは同じ地域で活動する、他の団体や市民・行政等と、目的の共有や連携・協力した活動を行っているか。	3
V. 情報発信性	法人や事業に関する情報を積極的に発信しているか。	⑭ 事業に関わる情報を積極的に発信しているか。	3

◆採点基準（現行）

13の具体的項目について、それぞれ1点から3点までの範囲で採点。その合計点（39点満点）により審査する。

審査基準	概要	具体的項目	配点
II. 公益性	事業の成果が、多くの市民に幅広く還元される公益性があるか。	① 特定の市民や団体の利益につながるものではなく、多くの市民の利益につながるか。	3
		② 多くの市民が参加又は賛同できる事業内容か。	3
		③ 現在の社会的課題又は社会に潜む課題に取り組むものか。	3
III. 計画性	事業や資金計画などに無理が無く、自主的、自立的に事業を遂行する能力があるか。	④ 事業内容は事業目的に合致しているか。	3
		⑤ 実施スケジュールと体制は整っているか。	3
		⑥ 収支予算の内容は適切か。	3
IV. 自立性	当該補助金の活用により、法人や事業の自立につながっていくか。	⑦ 当該補助金以外に、財源の確保に取り組もうとしているか。	3
		⑧ 事業の担い手や賛同者を増やす取り組みを行っているか。	3
		⑨ 団体の財政状況が健全で、事業内容と団体のめざすべき方向性が整合しているか。	3
V. 発展性	当該補助金の活用により、事業が発展し、市民活動の発展につながるか。	⑩ 新たな取り組み又は既存事業の発展に取り組んでいるか。	3
		⑪ より多くの市民等を巻き込み、地域社会全体の取り組みとして発展する可能性があるか。	3
		⑫ 同じ分野あるいは同じ地域で活動する、他の団体や市民・行政等と、目的の共有や連携・協力した活動を行っているか。	3
VI. 情報発信性	法人や事業に関する情報を積極的に発信しているか。	⑬ 事業に関わる情報を積極的に発信しているか。	3